

2022 年秋学期語学留学/ワイカト大学 帰国生アンケート

※注意※ ここで紹介されているアンケート回答は**全て個人の主観によるもの**であり、あくまで『参考情報』としてみなさんに開示しています。**正しい情報とは限りません**ので、その点について了承した上で留学準備に活用してください。

1. 授業について

授業の形態や進め方はどんなものでしたか。

授業内容は担当の先生によって異なるが、基本的には教科書に沿って授業を進めていってました。授業内で使われる教科書は、現地の図書館から貸し出しされるので直接教科書に答えを書き込むことができなかった。月曜日から木曜日は教科書を使って授業するが、金曜日は教科書を使わずスピーキング中心の授業をしていました。

基本的に教科書を使った。日本の授業とは違い、ペアワークやグループワークが多い。毎日先生が言う20単語を聞き取り、ノートに書きだすスピーキングを行った。kahootもよく使った。お題に対して自分の意見を書いたり、教科書の問題を解いてきたりする宿題があった。

午前中に単語や文法を教科書を使って学ぶことを多くし、午後からは基本的にグループワークが多く、その日に習った文法や単語に沿ってdiscussionをしていた。

英語学習のゲーム中心に進められました。テストなど、定期的なレベルアップのテストなどは特になかったです。

ネイティブの先生が教科書、自作プリント、クイズウェブサイトを使用し授業を進めていった。テストはなく、宿題はほぼ毎日出た。

ベースは教科書に沿って進めていて、並行してゲームなどを用いた英語学習もしていました。

教科書、プリント、kahoot、4.5人で一つのテーブル。

毎日初めにリスニングをした英単語を20個書いたり、文法問題をクイズ形式で答えたり、教科書を解いていました。リスニングを繰り返すことで区別がつきにくい発音を理解できるようになったらよかったと思います。たまに外に出て英語を使ったアクティビティをしたり、音楽を聴いて穴埋め形式の問題を解いたりしていました。クイズやゲームで得たことが多かったと思います。

テキストを使って基本的な文法から勉強しました。簡単だと感じる問題が多かったのですが、完全に理解できていないところもあったのでよかったです。またゲームやクイズのような形式を使うことも多かったです。

先生はずっと同じで、writing, listening, reading, speakingの練習をし、英語に関してすべてのレベルを上げることができるような授業でした。

クラス人数、日本人と留学生比率、留学生の出身国などについて教えてください。

学生は全員日本人でした。しかしか半月経ったころサウジアラビア人の男性が授業に参加した。

クラスの人数は18人だった。17人は関西外大であと一人はサウジアラビアの方だった。

とても楽しかった。日本とは違いグループで相談し合いながらする授業などが多かった。

クラスの雰囲気はどんなものでしたか。

クラスの雰囲気はとてもよく、先生も優しく、先生も学生の同じテンションで盛り上がり、タニシクシナガラ英語を学んでいた。教科書使って授業を進める事よりもディスカッション中心に授業が進められる。

先生はネイティブの先生だったが、日本人が多いため英語を使う機会が少し少なかった。グループワークが多いためみんなで協力する機会が日本の授業に比べて多いと思う。

日本の大学は、どうしても座学を想像してしまうが、そうではなく、大学以前の小学校～高校によくある向かい合った席で意見を言い合い、会話をメインとした授業だった。

授業の中で取り上げられたトピックで印象に残っているものは何ですか。

前置詞の勉強と時間の言い方です。前置詞ではこの単語にはこの前置詞がつく日常会話でも使われる言い方で役に立った。時間の言い方では例えば6時45ふんだと quarter to 7とか3時半では half past 3 など違う言い方があったのは初めて知った。

使っていた教科書がたくさん国の文化を取り上げていたので、国について学んだトピックが面白かった。

サイコロゲームで、グループに分かれて当たったトピックについて英語で話す時間は、とても魅力的で英語力向上に役立ちました。

ニュージーランドのスラングを学べたこと。

アニメキャラクター達が何人か描かれた紙を渡され、その中から1つ選んでそのキャラクターたちの特徴を英語で伝えて、ペアの子に自分の選んだキャラクターを当ててもらおうというゲームが日本人ならではの気がして楽しかったです。

洋楽の歌詞の聞き取り。

ほかの国の文化についてのトピックはとても興味深かったです。

FIFA ワールドカップ

授業を受けるにあたって工夫していたこと、努力していたことはなんですか。

予習よりも復習を主にしていました。自分がわからなかった単語その場で先生に聞き、単語をどういう状況で使うことがあるのか、

休まずに毎日きちんと授業に出席すること。課題は忘れずにやること。先生の話はよく聞くこと。わからないことはすぐに質問すること。クラスメイトと協力すること。

日本人しかいないけど、頑張って英語を使って会話をしようと試みていた。分からない単語があれば、すぐに携帯や辞書で調べるのではなく、先生に英語で意味を教えてもらっていた。

できるだけ英語で話すようにしていたし、知らない単語や文章が出てきたときには例文も含めて自分のものにするように努力していました。また、先生とのコミュニケーションを大切に、ネイティブとの会話に慣れる練習を毎日自分から行っていました。

積極的に質問した。

毎回宿題とともに、理解できなかった文法は家に帰って学習していました。絶対分からないまま置いておかないようにしていました。

日本人の友達と話す時でもできるだけ英語で話そうと努力していた。

初めて聞いた単語を英語で質問すること。

2. 滞在先・自由時間の過ごし方について

ルームメイトはいましたか。	ルームメイトはどこの国の人でしたか。	通学手段	通学時間
0人		バス	45-60分
0人		バス	45-60分
2人	タイ、中国	バス	30-45分
0人		バス	15-30分
1人	中国人	徒歩	0-15分
0人		徒歩	30-45分
0人		バス	60-75分

部屋に用意してあったものは何ですか。	自分で用意したものは何ですか。
ドライヤー、バスタオル、タオル、ハンガー、シャンプー、ティッシュペーパー	消臭スプレー、コロコロ、化粧水、日焼け止め、水筒、爪切り、綿棒、ムヒ、エコバック、モバイルバッテリー、変圧器、変換プラグ、延長コード、サ

	ングラス、帽子、折り畳み傘。ウエットティッシュ、時計、歯ブラシ、歯磨き粉、ドライヤー、スリッパ、留学する国のガイドブック
ベッド、クローゼット、タンス、ハンガー、ソファ、ドライヤー、延長コード、勉強机、バスタオル、Wifi	洗面用具(シャンプー、コンディショナー、化粧水など)、服、変圧器、生理用品、洗濯ネット、パジャマ
ベッド、勉強机、クローゼット、収納ボックス、ハンガー、バスタオル	洗面用具、ティッシュ
ベッド、クローゼット、小さいテーブル、鏡	シャンプーリンスやティッシュ、歯ブラシなどの日用品
手紙、お菓子、バスタオル	消臭スプレー、ティッシュ、ウエットティッシュ
ドライヤーや鏡、温かいベッドなど必要最低限のものはすでに置いてありました。あと勉強机も私のために作ってくれました。感謝	ストレートアイロン、ティッシュ、綿棒、スリッパなど
ベッド、机、イス、クローゼット、タンス、ランプ、サイドテーブル、ドライヤー、ミラー、本棚	
テレビ、机、ベッド	トイレトペーパー、ティッシュ、歯磨きなど生活用品
ベッド、ドライヤー、ストーブ	
ベッド、クローゼット、椅子、ドライヤー	洗面用具

ホームステイ生活をする上で、日本と違って戸惑ったこと、驚いたこと。

特に違ったことは洗濯です。例えば月曜日は布団のシーツやまくらカバー、火曜日は靴下、水曜日は衣服、木曜日はタオルなど曜日によって洗濯するものが変わっていました。洗濯頻度も日本と違います。日本では毎日洗濯しますが、ニュージーランドでは一週間に一回洗濯し一気に洗濯します。

部屋にいないときはドアを開けておく。食事の前はお祈りをする。シャワーは10分まで。ホストファミリーの寝る時間が早い。基本的にナイフとフォークを使って食事をする。

お風呂はシャワーだけ。洗濯は週に一回、家の中は土足、お昼ご飯は必ずおやつがある、夜ご飯はワンプレート

シャワーの時間が10分以内と定められていたこと

土足、就寝時間の早さ、シャワーの時間、バスタブを使用しないこと

洗濯物を毎日洗う習慣がなかったり、休日は部屋の電気をつけてはいけなかったり、部屋でお菓子を食べちゃダメだったり、みんな夜9時には寝ていたり始めは驚きとストレスの連続でした

シャワーの時間。食器の洗い方。

ご飯にフルーツが入っていたこと、就寝時間の違い

部屋にいない時はドアを開けること。

ニュージーランドはみんな基本的に寝るのが本当にはやいので、お風呂、ドライヤーは10時までには済ませていました。また、湯船に浸かる習慣がないのでシャワーを15分ほどで済ませていました。

洗濯する頻度が少ないこと

ホームステイを快適に過ごすためのアドバイスをお願いします。

挨拶です。大きな声で Hello, Good morning, See you later, Have a good day など日常的に使われる会話は特に大きな声で言っていました。洗濯や家事、その他についてはホストファミリーによってルールがあるので、洗濯機を使う前、家事する前に必ず確認していました。

YES,NOをはっきり言うこと。Thank you, Please を言うこと。自分の部屋に引きこもらず、なるべくリビングにいること。わからないことは質問すること。出かける時はどこに行くのか、何時ごろに帰ってくるのかホストファミリーに伝えること。

ホストファミリーと積極的に会話をして、自分の意思を伝えることが大事

ホストファミリーとの会話を恐れず自分から積極的に取る努力をし、自分から相手のことを知ろうという姿勢を見せることがとても大切だと感じました。

コミュニケーションをとる。物事ははっきり言う。
嫌なことは嫌っていう、食が合わなかったら遠慮せず言う、わかんなかったらなんでも聞く。
ホストファミリーとたくさんお話しをしてたくさん楽しむことです^^あと、ホストファミリーはたくさん色々なところに連れていってくれたり、美味しい食事を作ってくださいるので、行きたいところや食べたいものを気軽に伝えてみるのいいと思います。
はっきり物事をいうこと、生活が合わなかったり、食べ物が合わなくても異文化理解だと思ってある程度は受け入れること。
慣れること。
YES・NOをはっきり伝えることがとても大切だと思います。日本人ははっきりさせるのが苦手ですが、食べれないや苦手、これはこうしてほしい、という細かいことでも伝えることでとても生活しやすくなります。また、ホストファミリーと会話をするために基本的にはリビングにるようにしていました。
手伝いすべきことや、家のルールなどを初めに聞いておくこと。
感謝の気持ちを伝えること

パソコンは持参しましたか。	携帯電話	インターネットは部屋から接続可能でしたか。	その際に費用はかかりましたか。
はい	留学先で SIM カードを購入	LAN ケーブルで可能	はい
はい	日本から SIM カードを持参	ワイヤレスで可能	いいえ
はい	日本から SIM カードを持参	不明	
はい	留学先で SIM カードを購入	ワイヤレスで可能	いいえ
はい	日本から SIM カードを持参	不明	
はい	留学先で SIM カードを購入	不可能	
はい	留学先で SIM カードを購入	LAN ケーブルで可能	いいえ
はい	留学先で SIM カードを購入	ワイヤレスで可能	はい

大学主催のプログラム/イベント/ボランティア /サークルなど。	学内/学校近辺でよく利用した施設やお店など
毎週木曜日の授業終わりにイングリッシュクラブという現地の大学生の人と一緒に交流する機会がありました。大学内にあるジムにも行きました。	大学内のジム、日本料理、韓国料理などが販売されている店に頻繁に行っていました。
イングリッシュクラブへ行って現地の大学生と会話する時間を作った。ホストファミリーと教会やピクニックへ行ったり、テレビを見たり、ピザを作ったりした。友達とはショッピングへ行ったり、観光地へ行ったりした。また大学主催の旅行にも参加した。	学校内のコンビニや食堂、キッチンカーはよく利用した。
週に1回放課後に English club という活動があって、唯一現地の学生と英語で話してコミュニケーションをとることができる機会があったのでそれに参加をしていた。	放課後は学内の Gymに通っていた。学内のカフェテリアなども充実しており、よく利用していた。学校近辺の City center にもよく行き、shopping を楽しんだりした。
放課後の現地学生との交流のクラブに参加したり、休み時間に広場に行き、現地の学生に話しかけてみたり、英語を話す機会を常に持てるように行動していました。	学内のカフェでは、常に賑わっていたためよく行って現地の雰囲気を感じていました。
ボランティアは朝方すぎて時間が合わなかったのではありませんでしたが、とりえずあまり家でゴロゴロ過ごすよりは外に出てみた方がいいと	学内のフードコート、街のショッピングセンター

思います	
小旅行に行ったり、お友達とショッピングモールや都会まで旅行に行ったり、ホストマザーの知り合いに日本人の方がいて、その方に日本とのハーフの子供に日本語を教えるという日本語補習校を紹介していただいて、毎週水曜日の放課後に教えに行ったり休みの日は色々な場所に連れていっていただきました。	warehouse という何でも売ってるお店、4square というコンビニ。学内はコンビニや食堂。
ハロウィンパーティー、誕生日パーティー、イングリッシュクラブ	

3. 留学前準備について

留学前に取り組んだ準備
ネイティブの人が良く使う日常的な言葉を勉強していた。留学する国の文化や有名な場所、伝統的な食べ物なども勉強した。SIM フリーにしておいたおかげで、現地で SIM カードを買って使えた。
なるべく多く日常生活で使える英語の基本文を覚えた。ホストファミリーへのお土産を買った。
日常でよく使うフレーズを覚えることができた。リスニング力が上がった。留学前に比べて自分から話しかける力がついた。
英単語をとにかく毎日覚えて、例文などふくめてボキャブラリーを増やして準備していました。
中宮の国際交流部の留学資料を何度も閲覧し、そして 4 カ国の中からニュージーランドを第 1 希望として提出し、ニュージーランドに決定後もニュージーランドの大学に留学していた先輩方の資料をまた深く読み知識を得た。
単語帳は遊びに行く移動中などもよく回していました。
ホストマザーと連絡を取る。

留学前にしておけばよかったと思う準備
もう少し単語帳を留学する前から復習しておくべきだった。
もう少し英語を勉強しておくべきだった。
出かけた先での店員さんとのやりとりなど、事前に調べておけばもっとスムーズにいったのではないかなと思う時もありました。
文法だったりリスニングの勉強にもっと本気で取り組んで空けばもっと早い段階で伸びることが出来たのかなと少し後悔しました。
英単語の勉強。
自分の好きなこと、日本について、など会話の話題になることを調べておけばよかったなと思いました。
もっと自分の国の文化を知ること。

日本から持って行って役に立ったもの、または喜ばれたもの
日本から持って行って役に立ったものは、消臭スプレー、ウエットティッシュ、ホストファミリーに猫がおり毛がよく服に着いていたのでコロコロはすごく役に立った。喜ばれたものは自分の生まれた場所のガイドブックをあげた。自分の場合は生まれが京都だったので京都のガイドブックをあげた。
洗濯ネット、生理用品、綿棒、変圧器、日焼け止め、現金、歯ブラシ、変換プラグ、折り畳み傘
ビニール袋は、ゴミをまとめたり、出先で少し物をまとめたりするのに便利でした。しょっちゅう掃除機をかけない家庭だったので、コロコロも役立ちました。
日本のお菓子、消臭スプレー、インスタントの味噌汁、お茶漬け
日本独自の変わったお菓子だったり、ちょっとお高目なチョコレートは喜ばれる気がします。あと私の場合は悟空のシールがホストブラザーに喜んでもらえました。

ココロテープとファブリーズは自分のために役に立ったものです。私のホストはマザーのみでお花が好きと留学前のメールで言ったのでお花柄の布巾や日本のお菓子を持って行きました。

柿の種のみは中国人に喜ばれました。肌を使う化粧水などは自分に合ったものを使うべきなので日本から持っていきべき。爪切りや、変圧器なども必要でした。生理の黒の袋や生理用品は持って行ってよかったです。

ココロ (埃をとる掃除道具)

日本のお菓子、日本の食器

日本から持っていく必要のなかったもの	日本から持参すればよかったと思ったもの
割りばし	化粧品の予備
沢山の服、SIMカード	スキンケアの詰替、日本の生理用品(安心だから)
洗濯に必要なものは、貸し出してくれたため必要なかったです。	帽子
ドライヤーとかはホストファミリーによっては貸してくれるのでいらなかったです。あと秋学期ニュージーランド留学に限ったはなしかもしれませんが、寒いので半袖もあまりいらなかったです。	日本食が恋しくなるので、割とインスタントのお味噌汁とかラーメンがあって助かりました。あと単語帳だったり、お気に入りのテキスト数冊は向こうで語学力を向上させるためにも絶対持って行ってください。
ヘアアイロンを持っていったが電圧が違うため使えなかった。	洗顔: 現地の洗顔を使っていたら肌がとても荒れた
生活用品	壊れた時用の充電器
大量の生理用品。向こうで購入できるから。	

4. 留学費用について

お金をどのように準備しましたか。	日本円でいくぐらい準備しましたか。
お金はクレジットカードとプリペイドカード、デビットカード、現金を準備した。三枚のカード一つの財布に入れておくのは大変危険なので、三つに財布を用意してカードと現金を分けた。	クレジットカードの上限はなく、デビットカードは上限10万円でした。現金は日本円で10万円分用意していました。
クレジットカード、現金	クレジットカード上限 20 万円、現金 6 万円
現金は初め3万円ほど換金して用意した。留学中は基本的にクレジットカードしか使わなかった。現金は週末出かけたときに交通費を払う際必要だった。それ以外はカードの利用が便利だった。	現金約3万円。クレジットカード約30万円。
デビットカード、ニュージーランドドル	デビットカード35万円分ほど、現金5万円分(足りなくなったら現地のATMでお金を下ろした)
基本的にはクレジットカード(VISA)で全て支払っていました。	現金10万円 クレカ20万円
ほとんどクレジットカード、現金は4万円持っていきました。	クレジット上限20万円、現金4万円
クレジットカード2枚、現金もすこし換金していましたが、おもったより現金が使えるし、友達と割り勘する時に現金が必要になるので、多く持っていくべきだと思った。	現金は2万5000円ぐらい
クレジットカード、デビットカード、現金(日本円とNZドル両方)。親に月一度仕送りをしてもらった。デビットカードの口座にお金を振り込んでもらった	クレジットカード、デビットカード合わせて約30万。現金約10万
現金とクレジットカード	現金10万とクレジットカード30万

現地で支払った住居費と食費を教えてください。

通学費は1ヶ月で約2000円から3000円程。

食費約8万円(外食)

住居費はなし、食費は5万円ほど

通学はバスでしたが歩いてでも行ける距離だったので費用は5千円くらいでした。

5万円ほど

テキスト代と通学費はそれぞれいくらぐらいかかりましたか。

約1万円

テキスト代は貸出で無料、通学費は一週間学割で約400円

テキストは貸出でした。通学費は毎日1ドル-2ドルほどと安かった。

約20万円。

テキスト代はかからず、一万いかないくらいでした。

バス1万ほど

その他旅行や買い物など個人的費用は何にいくらぐらいかかりましたか。

大学からの日帰りツアーで日本円で5600円。買い物ではお土産に1、2万、自分の靴や服、ジムに行くための服に4、5万使った。

約10万円

普段の娯楽やお土産、旅行や遊びなど全て合わせて約15万円使った。

20万円程度

30万円近く

旅行一回、ほかにもたくさん場所に行ったので10万以上は使ってると思います

約30万。携帯の通信費がかかった

買い物、外食、遊び、全てで20万ほど。

5. 学習面について

語学力・コミュニケーション能力の自己分析

僕のホストファミリーでは家に帰ったら必ず今日、大学でどんな授業をしたのか、どんなことを学んだのか、を聞かれます。そこで学んだことをいっぱい説明したり、授業で使ったプリントをホストファミリーに見せて説明したり、今日学んだこと思い出しながら英語で説明していた。それを毎日続けていると自然に言いたいことが言えるようになった。

日常でよく使うフレーズを覚えることができた。リスニング力が上がった。留学前に比べて自分から話しかける力がついた。

留学全体を通すと、語学力・コミュニケーション能力ともに向上したと感じる。ホームステイ先ではホストマザーと2人だけで、英語しかコミュニケーション手段がなかったので、語学力は向上したと思う。しかし大学では日本人しかいなかったのも、語学力が向上したかどうかは分からない。

3ヶ月間、現地の人々との出会いを大切にコミュニケーションを恐れず自分から行うことで少しずつ自分の英語力向上を実感できました。留学前よりも明らかに聞き取り能力、英語での表現能力は伸びたと感じます。

初日のホストファミリーとの会話は自分の語学力の力不足に泣きそうになりながらも、一日一日会話を通して学んでいくことが出来て最終的には日常会話はほぼ問題なく会話出来ていたと思う。

留学に行く前より英語力は格段に伸びたなど自負しております。また外国人の方と話すことに抵抗がなくなったため、日本に帰ってきてからも外国人の方に急に話しかけられてもあせらず対応できるようになりました

現地の方と話す時に時々分からないこともありましたが、最初よりたくさん話せるようになったり、私的にリスニング力が上がったと思っています。

初めは日本人の友達の前で英語を使うことを少し躊躇していましたが、慣れてからは英語をよく使って出来るだけ自分の力で伝わるか試すために努力していました。

話す力も聞き取り力も格段に上がったと思う。話す怖さがなくなった。

留学後、日本でも英語を話すようになった。些細なことでも日本語から英語に変える努力をしている

留学前の目標とその達成度

留学前の目標は現地の人と話すときに緊張しない事でした。外国人の友達やジムにいたスタッフなどと仲良くするにつれて緊張がなくなりました。留学前の目標にしていた離すときに緊張しないことは達成できた。

留学前の目標は、ネイティブに自分からたくさん話しかけること、授業に休まず出席すること。話かけることは達成度 50 パーセント。もっと話しかけることはできたと思う。授業は一回も休まず出席することができた。

ニュージーランドという国を大好きになって帰ること、将来目指すものを見つけて帰るという目標で行きましたが、異文化理解、現地で毎日様々な経験をすることによってどちらも想像以上に達成することができました。

流暢な英語を喋れるようになりたいと目標を立てていたが、3ヶ月では限界があり、高い目標達成には到達しなかったが、またもう一度留学したいので、その時にこの経験は生かせるような英語力は身についたと思う。

留学前の目標は、外国人の人とたくさん話すこと、そして留学先でいろいろな経験をしてくることでした。結果的にどちらの目標も達成できたと思います。日本に帰ってから連絡を取り合える沢山の友達ができ、日本ではできなかったたくさんの経験をニュージーランドで出来ました。

留学前の目標は英語力を上げることでした。最初の頃よりは上がってると思うので 100 点で表すと 50 点です。

英語を話す友達と会話ができることが目標でした。全ては完璧にわからないですが、ある程度会話ができ、なおかつ楽しく生活できたことがなよりの達成です

日常会話ができるようになるのが目標だったが、満足いくぐらい達成した。

留学前に目標としていたホストファミリーとのコミュニケーションはすごく上手く行ったと思う。

留学を通しての成長ポイント

留学を通して僕が思う成長したポイント積極的になった所です。最初は英語で話すことに少しておこうがありました。これで正しいのか、発音間違っていないのかな、といろいろ考えていました。でも、間違ってもいいや、というくらいの勢いで話していたり、もし言葉が詰まったとしてもジェスチャーとかで表現したりと堂々と話していくと緊張もなくなり現地の人にも話せるくらいになりました。

日常でよく使うフレーズを覚えることができた。いろんなことに挑戦しようと以前よりも思うようになった。

自発的に英語で会話をしようとする力が身についた。語学力だけでなくその国の文化について興味が湧いた。

積極性、周りの人との協調性、コミュニケーション力、自己解決力など様々な力をつけることができました。

自己肯定感、自由さ、教科書では学べない現地のスラング。英単語、会話の際によく使う文などはもちろんだが、ニュージーランドの人々の自由な考え方を知り、もっと自由に生きようと感じた。日本人は身だしなみの規則があまりにも厳しすぎるし、個性をなくして仕事する人々が多い、ニュージーランドの人々は様々な人種の方がいる国なので、個性を大切にしていると感じた。

留学を通じて急を要する場面であっても焦らず、対応できる対応力が身に付いたなど感じております。また英語に対して抵抗がなくなったので、何かしらの説明文に英語しか書かれていなくても普通に読めるようになりました。

リスニング力とコミュニケーション力が成長しました。

話せなくても英語を使うことへの恥ずかしさは無くなりました。また誰とでも話せるようになったし、今後海外旅行やいろんなところに行っても留学経験を

思い出せばなんでもできるような気がします。

自分の意見をしっかり言う

留学前/留学中/留学後の語学学習に対するモチベーションの変化

留学前、留学中、留学後の語学学習に対するモチベーションはとにかく行動してモチベーションを上げていました。もし知っている単語があっただが意味が分からなくてとか、英語で言いたいことがノートに書けないということで病んでた時期がありました。そこで自分の言いたいこと簡単な英語で外国人の友達や先生に行ったりしてモチベーション維持をしていました。

もっと英語を学びたいと思った

留学前は現地の人々と交流する機会があまりない環境で、ネイティブの人と話すことに緊張する感じで、勉強は進めていたものの実践しようとしていませんでした。しかし、留学中絶えず人々とコミュニケーションを図ったことで楽しさを感じ、帰国後もネイティブがいる場所に積極的に行って練習を深めたいと強く感じるようになりました。

将来エアライン関係の職に就きたいと改めて感じた。そのために、資格勉強にも励まなければいけないと実感した。

留学前は、英語をしゃべれるようになりたいと思いつつも具体的に行動に移したりすることはなく、勉強も一応はしていてもどこかおぼつかない所がありました。今回留学という形で自分の目標に向けて行動したことをきっかけに、日本に帰ってきてからも本格的に日常生活の中で英語を使いたいと考えるようになり、英会話教室の先生、始めました。

現地の方とたくさんお話をし、分からない単語をどんどん減らしていこうという気持ちでモチベーションを上げていました。

留学前より今の方がもっと英語を使いたいと思うようになったし、英単語も日常会話で使えるものを覚えようとしています！

もっと英語を上手く話せるようになり、海外の方と交流したいと思うようになった。

英語を活用することでより将来の選択肢が広がることを感じた。

留学中 100%力を振り絞った瞬間

100%力を振り絞った瞬間はホストファミリーに日本のお菓子やガイドブックをあげたことです。ホストファミリーその親戚が集まってご飯を食べているときに、僕は勇気を振り絞って渡したいものがあると言った。みんなは僕の方を注目して、僕はお菓子とか扇子などあげた。みんなにお菓子の説明やセンスの使い方も説明しました。ホストファミリーはすごく喜んでくれて扇子を部屋に飾ってもらった。この日が100%振り絞ったことです。

現地の友達と会話をするとき

バスが来なくて家に帰れなくなった時、周りの人に助けを求める時

私はホストマザーと揉めたり、ステイ先に泥棒が入ってきたり、マザーのコロナ移されて最後の1週間寮に隔離されたりとなかなかトラブルが多かったので、その都度英語で状況を理解したり、伝えなければならぬことを英語で伝えたり…かなり頑張ったなあと思っています。

道に迷った時通りすがりの人に話しかけた

留学先大学の良かった点

日帰りツアーや現地の大学生との交流の場であるイングリッシュクラブ、ハロウィンパーティーなどなど英語に触れる機会をたくさん用意してくれたところが良かった。

留学生がたくさんいること

先生と学生の距離が近く、会話や相談がしやすかったことがよかった。施設設備が整っており、過ごしやすい環境だった。

日本語を勉強する学生も存在したので、日本に興味を持ってくれる現地学生が多かったことが嬉しかったです。

学内の施設が充実していたので、勉強するにも食事をするにも困らなかったです。あと現地の学生さんがとてもやさしくお世話になりました、ありがとうございました。

English club という現地の大学生の方とお話しをできる場所を作ってくれたことです。

フードコートに韓国料理があったこと。日本人教諭の人がいたこと。

すべて

週に一度 English club という、ネイティブの学生がボランティアで留学生と英会話をしてくれる会が開かれていたこと。それのおかげで現地の学生と仲良くなれたり、英語の勉強にもなった。

食べる場所も、薬局も、服屋さんも、ジムもあったので、利便性がよかった。

とても自然が豊かで綺麗。